

ランサムウェア「LockBit」被疑者の起訴等について

1 概要

本年2月、我が国を含む関係各国による国際共同捜査により、ランサムウェア攻撃グループ LockBit の一員とみられる被疑者を外国捜査機関が検挙するなどしたところ（令和6年2月広報資料参照）、この度、これに続く措置として、イギリス、アメリカ及びオーストラリア当局が、同グループにおいてランサムウェアの開発・運営を行うロシア人被疑者の資産を凍結するなどするとともに、アメリカにおいて同人を起訴した旨を、ユーロポールがプレスリリースした。

このプレスリリースにおいては、前回と同様、関係各国で関連するランサムウェア事案の捜査を行っており、当該捜査について、日本警察を含む外国捜査機関等の国際協力が言及されており、また、日本警察において開発したランサムウェア LockBit によって暗号化された被害データを復号するツールについても、同様に言及されている。

2 日本警察の協力

関東管区警察局サイバー特別捜査部と各都道府県警察は、我が国で発生したランサムウェア事案について、外国捜査機関等とも連携して捜査を推進しており、捜査で得られた情報を外国捜査機関等に提供している。

我が国を含め、世界的な規模で攻撃が行われているランサムウェア事案をはじめとするサイバー事案の捜査に当たっては、こうした外国捜査機関等との連携が不可欠であるところ、引き続き、サイバー空間における一層の安全・安心の確保を図るため、サイバー事案の厳正な取締りや実態解明、外国捜査機関等との連携を推進する。